

畜産ニュース

◎中国ブロック畜産経営技術共励会で岡山チームに最優秀賞

本年度の岡山県畜産技術成果発表大会は、第3回目としてさる3月14日、15日、岡山市津島の岡山大学農学部講堂で、酪農、和牛、養鶏など、県下、経診実施地区を代表した12グループが参加して開かれ、優れた畜産経営改善事例がつぎつぎに発表され成果をあげた。

さらにこの大会で最優秀に選ばれた英田町グループ（養鶏—指導員片岡志郎、代表農家大西登志太）は、3月21～3日、鳥取市の鳥取県経済連ホールで開かれた、第5回中国ブロック畜産経営技術共励会にも出場し中国各県チームと共に実績発表を行なったが、その結果、ここでも最優秀賞に入り県代表として大いに気を吐いた。

なおこれで岡山県は昨年一昨年に続き連続最優秀に選ばれたことになり、英田町グループは4月下旬東京で行なわれる全国大会に代表として参加することになっている。

◎輸入ジャージー牛の導入終る

世銀借款輸入ジャージー115頭が、本年度第2陣としてさる3月28、9日、美作集約酪農地域の真庭郡および英田郡へ導入され。

今回の導入牛は、さきに2月末に神戸へ到着、3月27日検疫が完了し、輸入を扱った農地開発機械公団から引渡しを受けたもので、姫新線勝山駅、江見駅でそれぞれ地元関係者へ引渡され農家への導入を終った。

これで県下のジャージー牛は合せて約3,000頭となったが、外国からの輸入はこれが最後となった。

なお各地区への導入内訳は次のとおり。

ク	ク	ク	ク	真庭郡八束	導入地区
美	新	二	川		頭数
甘	庄	川	上		
八	壹	八	四	五	
ク	ク	英田郡東粟倉	真庭郡久世	導入地区	
		大原町	西粟倉		頭数
六	百	六	二		

◎6県共進会候補家畜の選抜

今年の10月19日から23日まで、神戸市で行なわれる中国連合畜産共進会の出品家畜の選抜について、県ではさきに各地区毎の候補家畜を調査中であった

が、和牛については一応つぎのように各郡からの計画頭数がまとまった。選抜検査は初当の予定より少しおくれ、4月下旬頃に第1回が行なわれる予定。

なお乳牛および、中家畜（豚、めん山羊）は現在候補家畜を調査中である。

出品候補牛（和牛）

英勝久吉真阿高井岡小吉都和赤御	畜連別
田田米巨庭哲榮原笠備倉氣磐津	
六 六 六 六 六 六 一 五 五 一	雌種
二 八 三 四	雄
六 六 六 六 六 六 一 五 五 一	計牛
五 二 七	肉牛

◎津山・岡山市で酪農講演会

新しい時代に対応した酪農経営の知識の普及をはかるため、県主催で去る4月3日・4日、それぞれ津山市南小学校と岡山市の県庁9階ホールで酪農講演会が開催された。

演題は、「日本農業の再編成と酪農」についてで、日本農業研究所の農学博士桜井豊氏から、午前10時より2時間半にわたり講演があり、両会場とも酪農家や技術員で満員となり熱心に聴講した。

◎県下の1月分牛乳の動き

農林省岡山統計調査事務所の調べによると、1月中の県下の牛乳生産量は4,244トンで、前年同月より31・3%の大巾増になっている。このうち用途別消費量は、飲用向として1,270トン（前年同月比27%増）、加工向2,222トン（同26・1%増）と順調な伸びを示している。

なお県外への移出は、移入量616トン（前年同月比179・6%）で、鳥取・島根・広島・山口・香川・福岡が主な県となっている。これにたいし移出量は905トン（同203・4%）で、2倍以上に達し、大阪・兵庫・広島が主な県であった。

岡山畜産便り 1961.04

◎家畜能力検定講習会 津山市で開催予定

乳牛を中心とした家畜の能力検定法についての講習会が、4月21日、津山市の県酪農試験場で開催される。

講習会開催計画はつぎのとおり。

- 1、講師 ドイツキンセン大学教授 クリューガー博士
- 2、会場 津山市大田 岡山県酪農試験場
- 3、日時 4月21日（金） 11、00～15、00時
- 4、講習方法 講演およびゼミナール
- 5、対象 中四国各県畜産技術者、県内技術者